

[企業支援]課 行政経営計画書（総括表）

■事務事業の総括

| 予算科目 款-項-目（事業） | 事務事業名 |
|-------------------|----------|
| 5-1-1（3） | 勤労者支援事業 |
| 7-1-1（4） | 商工業振興事業 |
| 8-3-6（4） | 企業立地推進事業 |
| 8-3-6（5） | 賑わい創出事業 |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

令和5年度 事業別行政経営計画書

| | | | |
|-----|-------------|-------------------|-----------|
| 所属名 | まちづくり部企業支援課 | 予算科目 款-項-目(事業) | 5-1-1 (3) |
| 事業名 | 勤労者支援事業 | | |

■基礎情報

| | | | |
|---------------|--|----------|--|
| 目的 | 町内企業への就業促進及び勤労者の生活向上と福祉の増進を目的とする。 | | |
| 事務内容 | ・ 就職フェアの開催 ・ 生活資金、住宅資金融資制度に係る事務 | ・ 労働関係事務 | |
| 現在における経過又は課題 | <p>1 町内企業への就業者数の増加を目指して、扶桑町と合同で開催する大口町・扶桑町合同就職フェア及び3市2町（大口町・犬山市・江南市・岩倉市・扶桑町）合同就職フェアを毎年度開催している。大口町・扶桑町合同就職フェアでは、令和3年度から、コロナ禍においても感染リスクなく開催できるリモート方式を採用し、感染状況に左右されない開催方法を確立した。また、令和4年度は、年々減少している求職者の参加人数の増加を目指して開催回数を見直し、例年の年1回から年2回に増やして開催した。開催回数を2回に増やして実施したものの、参加人数の増加にはつながらなかったことから、開催時期や開催方式を改めて検討する必要がある。</p> <p>2 就職フェアの開催により、新卒者が町内企業へ就職する契機となる場を設けているが、実際に就職に結びつく件数は伸びていない。そこで、新卒者が希望する職業に関する情報を収集し、町内企業への理解を深める機会となる仕組みを検討する必要がある。令和4年度は、就職フェア参加企業に対して、インターンシップ制度の導入状況に関するアンケート調査を行い「インターン制度導入済・検討中」が45.9%、「機会があれば行ってみたい」が33.3%であった。</p> | | |
| 令和5年度の目標又は改善策 | <p>1 大口町・扶桑町合同就職フェアへの求職者の参加者数の増加を目指して昨年度同様に年2回開催する。開催時期については、参加企業へのアンケート調査結果や求職者の求職活動の動向を考慮し、開催時期を決定する。また、開催方式については、対面方式とリモート方式をそれぞれ1回実施する。</p> <p>2 新卒者の町内企業への理解を深め就職を促進するため、近隣大学と連携したインターンシップのマッチング制度について、引き続き検討する。また、制度構築に向けて、近隣大学を訪問し状況を把握するとともに、就職フェア参加企業に対するアンケート調査を行う。</p> | | |

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

| | | | | | | | |
|-------------|---------------------------|--------|-------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 総合計画の 体系 | 基本目標 | 第5章 | 未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する | | | | |
| | 基本政策 | 第2節 | 産業・経済 | | | | |
| 成果 指標 | 就職フェア参加人数（大口町・扶桑町合同就職フェア） | | | | | | |
| H26 実績値 | R1 実績値 | R2 実績値 | R3 実績値 | R4 実績値 | R5 目標値 | R6 目標値 | R7 目標値 |
| 108人 | 59人 | 中止 | 45人 | 42人 | 115人 | 120人 | 130人 |

■ 3年間の目標

| | | | | | | |
|----|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 目標 | | | | | | |
| | 項目（単位） | R3 実績 | R4 目標 | R5 目標 | R6 目標 | R7 目標 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

■ 2年後、3年後の主な計画

| | |
|------|---------------------------------|
| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
| R6年度 | 町内企業と新卒者とをマッチングするインターン制度を構築する。 |
| R7年度 | 近隣大学、町内企業と連携し、構築したインターン制度を実施する。 |

■ 作業工程（当該年度）

| | |
|-----|---|
| 月 | 作業内容 |
| 5月末 | 第1回大口町・扶桑町合同就職フェア（リモート方式） |
| 7月 | 第2回大口町・扶桑町合同就職フェア（対面方式） |
| 9月 | 3市2町合同就職フェア（大口町・犬山市・江南市・岩倉市・扶桑町） |
| 隔月 | いちのみや若者サポートステーション就職相談 （5月、7月、9月、11月、1月、3月） |
| 随時 | 融資斡旋制度の受付事務 雇用労働相談等の情報発信（広報・ホームページへの掲載） |

■ 目標又は改善策に対する取組内容

■ 評価

令和5年度 事業別行政経営計画書

| | | | |
|-----|-------------|-------------------|-----------|
| 所属名 | まちづくり部企業支援課 | 予算科目 款-項-目(事業) | 7-1-1 (4) |
| 事業名 | 商工業振興事業 | | |

■基礎情報

| | | | |
|---------------|---|--|--|
| 目的 | 町内の小規模・中小企業者の発展及び商工業の振興を図るため、活発な企業活動を支援することを目的とする。 | | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 町内企業再投資促進補助金事務 ・ 企業立地促進事業補助金事務 ・ 中小企業支援事業補助金事務 ・ 小規模企業等振興資金融資補助金事務 ・ セーフティネット資金融資補助金事務 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模事業者経営改善資金融資補助金事務 ・ 創業等支援資金融資補助金事務 ・ 商工会補助金事務 ・ 大口町企業紹介サイト【OGCナビ】事務 | |
| 現在における経過又は課題 | <ol style="list-style-type: none"> 1 町内事業者に対して様々な支援制度を実施している。そのうち、中小企業支援事業補助金については、その活用件数は増加傾向にあるものの、活用する事業者が限られていることから、活用する事業者が増加するよう情報を発信していく必要がある。 2 町内事業者の情報発信、また、事業者間の交流の場となることを目指して、令和2年9月に事業概要やアピールポイントを発信する大口町企業紹介サイト【OGCナビ】を開設した（令和2年12月公開）。令和4年5月には、ハローワークに求人申し込みをしている求人募集情報の掲載を開始し、ハローワークからの情報発信に加えて、同サイトからも求人情報の発信が可能になった。より活気のあるサイトにするため、掲載する事業者数の増加を図る必要がある。 3 町内企業の人材確保を支援するため、扶桑町と合同で就職フェアを開催している。令和3年度はリモート方式を採用して開催した。令和4年度は人材確保の機会をさらに後押しするため、開催方式を2回に増やして開催し、参加企業数は合計で60企業に増加した。有効なイベントとなるよう参加企業数を維持していく必要がある。 4 大口町小規模・中小企業振興会議は、令和元年12月の大口町小規模・中小企業振興基本条例の制定を受けて、令和2年度から開催している。令和4年度には、コロナ禍により延期していた町内事業者に対する実態調査を実施し、町内事業者に関する情報を収集した。 | | |
| 令和5年度の目標又は改善策 | <ol style="list-style-type: none"> 1 中小企業支援事業補助金については、活用する事業者数の増加を目標とし、町HP、広報等での周知に努めるとともに、活用する事業者にとって効果的な制度となるよう、必要に応じて見直しを行う。 2 大口町企業紹介サイトの掲載事業者数の増加のため、個別に訪問する等して掲載を依頼する。また、掲載企業間の交流の場となる仕組みを検討する。 3 令和5年度の合同就職フェアは、対面方式とリモート方式をそれぞれ1回開催する。それぞれの開催方式のメリットを説明し、参加企業数を維持する。 4 商工業に関する実態調査を引き続き実施するとともに、大口町小規模・中小企業振興会議での意見交換を踏まえ、必要に応じて新たな振興施策の実施、既存施策の改正を行う。 | | |

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

| | | | | | | | |
|-------------|----------------------------|--------|-------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 総合計画の 体系 | 基本目標 | 第5章 | 未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する | | | | |
| | 基本政策 | 第2節 | 産業・経済 | | | | |
| 成果 指標 | 就職フェア参加企業数（大口町・扶桑町合同就職フェア） | | | | | | |
| H27 実績値 | R1 実績値 | R2 実績値 | R3 実績値 | R4 実績値 | R5 目標値 | R6 目標値 | R7 目標値 |
| 31 企業 | 37 企業 | 中止 | 28 企業 | 60 企業 | 39 企業 | 40 企業 | 42 企業 |

■ 3年間の目標

| | | | | | |
|-------------------|--|--------|--------|--------|--------|
| 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業支援事業補助金の活用事業者数を令和7年度までに22事業者とする。 ・ 大口町企業紹介サイト掲載企業数を令和7年度までに80企業とする。 | | | | |
| 項目（単位） | R3 実績 | R4 実績 | R5 目標 | R6 目標 | R7 目標 |
| 中小企業支援事業補助金活用事業者数 | 10 事業者 | 13 事業者 | 18 事業者 | 20 事業者 | 22 事業者 |
| 大口町企業紹介サイト掲載事業者数 | 47 事業者 | 53 事業者 | 60 事業者 | 70 事業者 | 80 事業者 |

■ 2年後、3年後の主な計画

| | |
|-------|--|
| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
| R6 年度 | ・ 大口町企業紹介サイト【OGCナビ】の掲載企業数の増加に合わせ、企業間のマッチングの場となる仕組みを検討する。 |
| R7 年度 | ・ 大口町企業紹介サイト【OGCナビ】の企業間のマッチングの仕組みを運用する。 |

■ 作業工程（当該年度）

| | |
|-----|--|
| 月 | 作業内容 |
| 5月末 | 第1回大口町・扶桑町合同就職フェア（リモート方式） |
| 7月 | 第1回大口町小規模・中小企業振興会議 第2回大口町・扶桑町合同就職フェア（対面方式） 商工関係補助金情報を広報に掲載（町HPは随時） |
| 11月 | 第2回大口町小規模・中小企業振興会議 |
| 12月 | 大口町企業紹介サイト【OGCナビ】掲載案内記事を広報に掲載（町HPは随時） |
| 1月 | 商工業に関する景況調査 |
| 2月 | 第3回大口町小規模・中小企業振興会議 |
| 随時 | 補助金の受付・交付事務、先端設備導入計画認定事務、完済情報による補助金返還事務、セーフティネット保証認定事務、商工会事務 |

■ 目標又は改善策に対する取組内容

■ 評価

令和5年度 事業別行政経営計画書

| | | | |
|-----|-------------|-------------------|----------|
| 所属名 | まちづくり部企業支援課 | 予算科目 款-項-目（事業） | 8-3-6（4） |
| 事業名 | 企業立地推進事業 | | |

■基礎情報

| | | |
|---------------|---|--|
| 目的 | 大口町の将来を見据え、次世代の暮らしの豊かさや持続可能な財政基盤を確保するために、新たな企業の立地誘導を行う。 | |
| 事務内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランで工業機能を誘致する区域と位置付けた区域へ企業の誘致を行う。（オーダーメイド方式での企業誘致） ・新たな工場の立地に必要な関係機関との協議、事務手続きの支援を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・町内に用地取得を希望する企業と協定書を締結し、開発用地の取得交渉の支援を行う。 |
| 現在における経過又は課題 | <p>1 「未来の土地利用プロジェクト」の検討結果を踏まえ、修正した土地利用計画に基づいて税収の確保と雇用の創出のため、積極的に企業誘致に取り組んでいく。 課題として本町の約8割は市街化調整区域となっているため、市街化調整区域内での開発にあたっては様々な制限をクリアしていく必要がある。</p> <p>2 東久(株)新工場建設事業については、令和3年3月に東久(株)からの支援依頼を受け、地権者との用地交渉を開始した。同年7月に地権者の取りまとめが完了し、同年10月には地権者全員と東久(株)との土地売買契約を締結した。新工場の建設工事は事業計画どおり令和4年6月に着工することができたが、完成時期は令和5年8月となっており非常にタイトなスケジュールが求められている。</p> <p>3 オークマ(株)から以前白紙となった新工場建設事業について再開したいとの相談を受け、改めて地権者との用地交渉を開始しオークマ(株)が計画する事業用地を確保する。</p> | |
| 令和5年度の目標又は改善策 | <p>1 本町の企業誘致は工場の立地や拡張を希望する企業の様々なニーズに対応できる、オーダーメイド方式を採用し、企業から個別相談を受け、具体的な計画となれば候補地の調査及び選定を行い、企業に対しプレゼンテーションを実施している。用地決定後は、工場建設に向けて市街化編入、地区計画、都市計画法第34条第12号の区域申出を活用し開発手続きの支援をしていく。</p> <p>2 東久(株)の新工場建設事業については、大規模な建設工事となることから、地元的生活環境の損なうことのないよう注意を促すとともに、工事に対する地元から要望等については、関係部署と連携して迅速に対応し、遅滞なく工事が進むよう支援していく。</p> <p>3 オークマ(株)の事業計画が滞ることのないよう期日までに土地の取りまとめを終え、その後の開発手続きに関する支援を行う。</p> | |

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

| | | | | | | | |
|-------------|-------------------|--------|-------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 総合計画の 体系 | 基本目標 | 第5章 | 未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する | | | | |
| | 基本政策 | 第2節 | 産業・経済 | | | | |
| 成果 指標 | オーダーメイド方式による企業誘致数 | | | | | | |
| H26 実績値 | R1 実績値 | R2 実績値 | R3 実績値 | R4 実績値 | R5 目標値 | R6 目標値 | R7 目標値 |
| 0社 | 1社 | 2社 | 5社 | 10社 | 15社 | 18社 | 21社 |

■ 3年間の目標

| | | | | | | |
|--------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 目 標 | | | | | | |
| | 項 目 (単位) | R3 実績 | R4 目標 | R5 目標 | R6 目標 | R7 目標 |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

■ 2年後、3年後の主な計画

| | |
|------|--|
| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
| R6年度 | ・町内に工場用地の取得を希望する企業に対し、オーダーメイド方式による積極的な支援を行うことで、目標数値が達成できるよう企業誘致数の増加を目指す。 |
| R7年度 | ・工場用地の取得後は、地元や関係機関、町関係部署と調整をしながら、遅滞なく工事が進むよう支援していく。 |

■ 作業工程 (当該年度)

| | |
|-----------|---|
| 月 | 作 業 内 容 |
| 4月～ 通年 | <ul style="list-style-type: none"> ・造成・建設工事支援 東久(株)、日伸制御器工(株)、(株)愛康、(株)三陽製作所、 ・土地の取りまとめ オークマ(株)、(学)岩倉学園大口幼稚園 ・開発手続きに関する支援 (株)青山製作所製造本部、ヤマザキマザックキャピタル(株)、(株)ティ・アイ・イー、 スターテクノ(株) <p>※その他、新たな企業誘致に関する土地のとりまとめ、開発手続きに関する支援を行う。</p> |

■ 目標又は改善策に対する取組内容

■ 評価

令和5年度 事業別行政経営計画書

| | | | |
|-----|-------------|-------------------|----------|
| 所属名 | まちづくり部企業支援課 | 予算科目 款-項-目（事業） | 8-3-6（5） |
| 事業名 | 賑わい創出事業 | | |

■基礎情報

| | | |
|---------------|---|--|
| 目的 | 人が集い、人と人が交流し合う場を設けることで、活気にあふれ賑わいのあるまちづくりを目指す。 | |
| 事務内容 | ・町内の在住、在勤者が立ち寄り、飲食をしながら交流できる場を整備する。 | |
| 現在における経過又は課題 | <ol style="list-style-type: none">1 本町は、900を超える事業所が存在し多くの方が町外から通勤するため、昼間人口の割合が非常に高いという特徴がある一方で、飲食店が少ないことから、在勤者が立ち寄りやすい場が乏しいことが課題となっている。2 昨年度開催した「大口にぎわい横丁」について、町に賑わいを生み出す事業として一時的なイベント開催でなく、今年度は開催回数を増やし、さらには将来的に定期開催が実現できるよう運営体制を見直す必要がある。3 町内在勤者にとって、大口町は単なる勤務地という認識でしかなく、大口町のことをほとんど知らない人が多い。 | |
| 令和5年度の目標又は改善策 | <ol style="list-style-type: none">1 人が気軽に集まり住民と在勤者が交流できるような場を創るため、キッチンカーを集結させて飲食を楽しむことのできる「大口にぎわい横丁」を開催する。2 定期開催を視野に入れ、今年度は開催時期や会場など様々なケースを試みながら4～5回「大口にぎわい横丁」を開催する。キッチンカーの募集方法や会場設営等については、コストの削減や省力化した運営方法の構築を目指す。3 在勤者にも立ち寄ってもらえる催しとするため、住民だけでなく企業に対しても「大口にぎわい横丁」の周知を徹底する。また、五条川の桜の開花時期に合わせて開催することで、在勤者が勤務時間外にも大口町の魅力に触れてもらえる機会とする。 | |

■ 第7次大口町総合計画に定める事項

| | | | | | | | |
|-------------|--------|--------|-------------------------|--------|--------|--------|--------|
| 総合計画の 体系 | 基本目標 | 第5章 | 未来へと引き継ぐ環境保全とまちの活力を創造する | | | | |
| | 基本政策 | 第2節 | 産業・経済 | | | | |
| 成果指標 | | | | | | | |
| H26 実績値 | R1 実績値 | R2 実績値 | R3 実績値 | R4 実績値 | R5 目標値 | R6 目標値 | R7 目標値 |
| | | | | | | | |

■ 3年間の目標

| | | | | | | |
|--------|-------------------------------------|-------|-------|-------|-------|--|
| 目標 | 町内の在住、在勤者が交流でき賑わいを生み出す場を創ることを目標とする。 | | | | | |
| 項目(単位) | R3 実績 | R4 目標 | R5 目標 | R6 目標 | R7 目標 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

■ 2年後、3年後の主な計画

| | |
|-------|---|
| 年度 | 計画内容及び改善策等 |
| R6 年度 | ・「大口にぎわい横丁」を定期的で開催し定着化を図る。 |
| R7 年度 | ・「大口にぎわい横丁」の定期開催後に倦厭されることのないよう来場者を確保する。 |

■ 作業工程 (当該年度)

| | |
|-------|--------------------------------|
| 月 | 作業内容 |
| | 【飲食店事業 (大口にぎわい横丁)】 |
| 4~8 月 | 開催準備：開催時期及び開催会場の決定、出店者調整、チラシ作成 |
| 9~3 月 | 決定した会場で試行的に4~5回開催する。 |

■ 目標又は改善策に対する取組内容

■ 評価